



# 中筋小学校だより

校訓 ～ 強い身体 正しい心 ～

舞鶴市立中筋小学校

学校だより 年度末号

令和6年3月22日発行

<http://nakasuji.maizuru.edumap.jp/>

☎ 75-0372

学校HP



## ～卒業、進級おめでとうございます～

110名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。  
輝かしい門出を教職員一同、心よりお祝い申し上げます。



桜のつぼみも膨らみ始め、春の訪れを感じるようになりました。

この1年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症も5月から第5類に分類されるようになり、警戒はしつつも徐々にコロナ禍前の状況が戻ってきました。子どもたちは、これまで我慢してきた気持ちを振り払うかのように生き生きと学校生活を送ることができました。かつて高校野球の優勝監督が「青春は密」という有名な言葉を話されたことを思い出しますが、子どもたちはやはり人とかかわりの中で大きく成長することをコロナ禍の時と比べて改めて感じました。多くの子がマスクを外し、表情豊かに行う対話であったり、給食時間中の歓談であったり、そういった友達との楽しいコミュニケーションを通して、豊かな人間性が育まれていくことを目の当たりにする場面がたくさんありました。コロナが人間として大切な原点をもう一度確認させてくれたのかもしれない。

保護者の皆様にも、いろいろな行事において特に制限を設けることなく参観していただくことができ、子どもたちの成長の様子を行事ごとに感じていただけたのでは、とうれしく思っております。

3月21日、今年度はご来賓をはじめ在校生代表として5年生、そして保護者の皆様が参列して、盛大に第150回卒業証書授与式を挙行いたします。110名の卒業生が思い出を胸に巣立っていきます。6年生が下級生を思いやる姿や真摯に自分の役割を果たす姿、挑戦する姿は、温かく、そして何事にも真剣に取り組む学校風土を醸成してくれました。「百花」を学年目標に、一人一人が主人公としての自覚を持ち、自分色の素敵な花を咲かせようとする何事にも主体的で一生懸命に取り組んだ6年生。その6年生から、今、5年生がバトンを受け継ぐ時を迎えています。卒業生は、それぞれが6年間で培った力を活かして、中学校生活をスタートしてくれることと思います。

22日には、5年生以下554名が、各学年の課程を修了し、次の学年へと進級します。「気付き・認め合い・命」を大切に、努力・協力を通して、大きく成長した子どもたち。さらなる成長とよりよい学校を目指し、令和6年度は102名の新入児童を迎えます。新しい全校児童と教職員が一つになって、気持ちよくスタートできますよう、春休みも安全に、元気に過ごしてほしいと願っています。

「学校支援ネットワーク『なかすじ』」「150周年記念事業委員会」の皆様をはじめ、子どもたちの活動に関わっていただきました全ての皆様に、感謝申し上げます。安全な登下校を見守り、子どもたちが元気に登校し、それぞれの学年でその発達段階に応じた多様な活動ができましたのも、ひとえに地域の皆様のおかげです。また、150周年として様々な記念品を頂戴し、子どもたちを温かく育む校内環境づくりへのご支援にも心より感謝申し上げます。今後も変わらないご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

校訓「強い身体 正しい心」を大切に「ともに学び、ともに育つ」を教育目標とし、未来を生き抜く力を付けるべく、教職員一同「チーム中筋」で一丸となって指導にあたって参りました。しかし、不十分なことも多く、皆様にはご心配をおかけしたと存じます。それにも関わりませず、いつもご理解、ご支援をいただきましたことに、心よりお礼申し上げます。来年度も、保護者・児童アンケートの今年度の結果を踏まえながら、さらなる高みを目指して努力をして参ります。

一年間、本当にありがとうございました。

校長 亀井 敬介 教職員一同

### お世話になりました。

学校運営協議会の皆様、学校三師・眼科医・耳鼻科医の皆様、学校運営や子どもたちの健康について、貴重なご意見・健診等ありがとうございました。

#### <学校運営協議会の皆様>

会長	福島イツヨ 様	副会長	生橋 勝矢 様
委員	嵯峨根 貴 様	委員	網干 勝之 様
委員	櫻井ひろ子 様	委員	浅井 久志 様
委員	甲斐嶋祐介 様		

#### <学校三師・眼科医・耳鼻科医の皆様>

学校医	高田 博輝 先生	曾我 洋子 先生
学校歯科医	内藤 善郎 先生	西村 準也 先生
学校眼科医	岸田 正名 先生	
学校耳鼻科医	井上 秀蔵 先生	
学校薬剤師	原 伸好 先生	